

年表で振り返る大森山動物園の50年

1973→1983

1973 ● [9月1日]大森山公園・動物園開園



開園セレモニー

- 1975 ● 動物園夏まつり開催
- 第1回サマースクール開催
- ライオンズクラブから野外ステージが贈られる



第1回サマースクール

- 1976 ● 園内に遊園地オープン
- 1977 ● シマウマ、ツル導入
- 1978 ● 第1回写生大会開催
- アカカンガルー導入
- 1979 ● ダチョウ導入
- メンフクロウ繁殖(繁殖賞受賞)
- 1980 ● ブラジル・サンパウロ市から親善動物バカが贈られる
- 1981 ● サル山オープン(京都府宇治田原町から二ホンザル33頭を導入)



サル山完成後

- 1982 ● 友好都市・中国蘭州市から親善動物フタコブラクダが贈られる
- 1983 ● タンチョウ導入(開園10周年記念事業)
- ジャイアントパンダの剥製を展示(開園10周年記念事業)

1984→1993

- 1984 ● オスのタンチョウを導入
- 1988 ● ふれあい教室スタート
- ブラジル・サンパウロ市から親善動物コモンマーモセットなどが贈られる
- 1990 ● 大型動物舎建設用地造成工事完了、大型動物舎建設工事着工(市制100周年記念事業)
- 南アフリカ共和国からゾウ2頭を輸入(市制100周年記念事業)



アフリカゾウ搬入

- 1991 ● 情報誌「コミュニケーション」発行開始
- 大型動物舎完成(ゾウ、キリン舎)
- 大型猛禽舎完成(イヌワシ舎)
- 東京都多摩動物公園からキリン3頭を導入
- ゾウ、キリンを公開



来園時のキリン

- 冬の動物園観察会スタート
- 1992 ● 水禽池完成(大型フライングケージ)
- 1993 ● 開園20周年記念式典開催
- 夜の動物園スタート
- 小型鳥類舎完成(インコ舎)
- キリン繁殖

1994→2003

- 1994 ● シロイワヤギ繁殖
- ホンドテン繁殖(繁殖賞受賞)
- 1995 ● アネハツル人工授精で誕生(繁殖賞受賞)
- ユキヒョウ繁殖
- 1996 ● ワシミミズク導入
- チンパンジー繁殖(人工哺育)

1997 ● ふれあいランドオープン



ふれあいランドオープン

- レッサーパンダ、カピバラ導入
- カリフォルニアアシカ繁殖
- 1998 ● アビシニアコロブス繁殖
- 九州自然動物公園からキリンのオス「ジュン」が来園
- 1999 ● ラマ、ケツメリクガメ導入
- 2000 ● シフゾウ、ビーバー、ヤマアラシ導入
- 2002 ● チンパンジーの森オープン
- 年間利用券(通称パスポート)販売開始



- 義足のキリン「たいよう」が話題になる



キリンのたいよう(左)

- ボランティアガイド「たいようの会」発足
- 2003 ● ロゴマーク決定・披露
- 開園30周年記念式典開催
- 猛獣舎「王者の森」オープン



「王者の森」オープン

- ガーデンボランティア「MYZOOガーテナー」発足
- イヌワシ初繁殖
- 園内にてゼニタナゴの生息を確認(公表)
- 大森山少年の家開所

2004→2013

- 2004 ● ツキノワグマ、ペンギン、ワシミミズク繁殖
- 2005 ● まんまタイム、エサやり体験開始



まんまタイム

- 2006 ● 大森山動物園条例施行
- 愛称を「ミルヴェ」と決定
- 雪の動物園スタート



雪の動物園

- 2007 ● 研修ホール・管理事務所「ミルヴェ館」オープン
- 軽食コーナー「森のこまち」オープン
- 大森山遊園地閉鎖
- 2008 ● 動物健康管理センター「森のびょういん」オープン



森のびょういん竣工式

- 大森山ゆうえんち「アニパ」オープン
- アムールトラ繁殖



アムールトラ繁殖

- 2009 ● 大型遊具「アソヴェの森」完成（日本宝くじ協会の事業を活用）



アソヴェの森

- 大森山自然動物公園整備構想策定委員会開催
- 日本動物園水族館協会総会を初めて秋田市で開催、総裁の秋篠宮殿下が大森山動物園をご視察



秋篠宮殿下、イヌワシを間近に観察

- 2010 ● 大森山自然動物公園整備構想発表
- アニマル戦隊ミルヴェンジャー7が誕生
- 2011 ● 南米小型サル舎「さるっこの森」オープン
- ニホンコウノトリ繁殖（日本最北）
- 大森山動物園応援会発足
- 2012 ● アカコンゴウインコ人工繁殖
- 2013 ● 秋田公立美術工芸短期大学生制作によるロゴマーク、イメージキャラクター「オモリン」を発表



ロゴ・キャラクター発表会

- 開園40周年を祝う会開催
- 鶴岡市加茂水族館、男鹿水族館GAOとの「東北日本海動物園・水族館連携(3園館連携)」を開始
- エンリッチメント大賞受賞（キリン）

2014→2023

- 2014 ● ビジターセンターオープン



ビジターセンターオープン

- ウェルカム動物舎オープン
- 2015 ● 高木美保さんが名誉園長に就任
- 総入園者数1,000万人達成
- 秋田公立美術大学とのプロジェクト「Arts & Zoo」スタート（現：大森山アートプロジェクト）
- 環境省イヌワシ保護増殖事業の確設施設となる
- 2016 ● ネーミングライツ「大森山動物園～あぎんオモリンの森～」(パートナー企業：株式会社秋田銀行)を導入
- 園内に無料の公衆無線LANを整備
- 高病原性鳥インフルエンザ発生
- 2017 ● 鳥インフルエンザ対策として隔離飼養施設およびイヌワシ繁殖保全棟等を整備
- 2018 ● アフリカゾウの繁殖に向けて仙台市八木山動物公園、盛岡市動物公園と連携した取り組みを開始
- 2019 ● 野生動物保護功労者環境大臣表彰（イヌワシ）
- エンリッチメント大賞受賞（トナカイ）
- 2020 ● 動物専門員の採用がスタート
- 2021 ● サル舎「天空の楽猿(らくえん)」オープン



「天空の楽猿」オープン

- 大森山公園整備基本計画策定
- 2023 ● 開園50周年

